ソロス援助による“全国的銃規制運動”は、米市民戦争の準備

【訳者注】これは、タイトルの問題を中心にして眺めた、パワー・エリート（NWO）の起こりから、その確実な末路までを見通す、我々の時代の小史とも言うべき論文である。結局、我々は根底において、共産主義というものに騙され、翻弄されて、この百年を生きてきた。共産主義とは何であるかが、この冒頭のソロスの短い言葉で言い尽くされている。今アメリカで、煽る者と煽られる者がいて、数十年前の我が国の左翼運動のような雰囲気を醸し出しているのは、1917 年に始まったロシア革命が、いよいよ 100 年後に、その最終決着の時を迎えたからである（と、SOTN は言う）。共産主義の最終目標とは、New World Order アジェンダの完成のことだった。この 2 つが掲げる目標は完全に一致している――1 つの世界政府、愛国・国家主義の禁止（トランプ主義の禁止）、宗教の禁止（彼らのサタン教を除いて）、私有財産の禁止（銃の禁止と読み替えられる）、家庭秩序への攻撃（性関係の徹底破壊）、など。そしてこのすべての根底にあるのは、サタンによる神への復讐である。

SOTN (State of the Nation)
February 21, 2018

私は黒人のヘイト・グループを支援してアメリカを倒すつもりだ。我々は彼らを、心理的な罠にかけ、白人を非難させるだろう。黒人社会ほど操作しやすいものはない。

--George Soros
（ドイツの BILD とのインタビュー、2014 年 9 月）

暴動を起こす“左翼”は気づかないでいるが、彼らのグローバリスト・リーダーは、銃の没収が、間違いなく全面的市民戦争の引き金になることを知っている。

Tucker Carlson:「銃の没収を唱道することは、内乱の危険を招くことである。」

それこそ、権力者たちが、これほど容赦なく、厳しい銃規制を押し付けようとしている理由である。彼らが望んでいるのは戦争と混乱であり、それは、混乱の中から、破壊の後で、彼らの New World Order をつくり出すためである。

彼らは、アメリカ人民が、世界制覇の大きな障害となることを知っている。

参考資料：「メリーランドの保安官は、銃の没収以前に内乱があるだろうと言う」
http://themillenniumreport.com/2018/02/maryland-sheriff-says-it-will-be-civil-war-before-gun-confiscation/

NWO グローバリスト陰謀団が、シリアの内戦を操作したことは、誰にもわかった。彼らは、自分たちが ISIS をつくり出し武装させるのを、全世界が見つめる中で、白昼堂々と戦争犯罪を起こした。ダーイシュ・テロリストが、ペンタゴン、CIA、モサド、MI6 によって、資金を与えられ訓練されていたのは、最終的には常識になった。イスラム国テロリスト軍の、事実上のリーダーでさえ、イスラエル秘密情報局に訓練されていた。
http://themillenniumreport.com/2014/09/isis-israeli-secret-intelligence-service/

シリアは実は、内戦ではなかった。それは、「拡大イスラエル(Greater Israel)計画」を進め、ヨーロッパ連合 (EU) を緊張と混乱の大釜の中に投げ込むなど、多くの不吉な目的の中で、細心に計画された紛争であった。「**プーチンのロシアが、拡大イスラエル計画を粉砕する**」
http://stateofthenation2012.com/?p=23524

何がポイントか？

北レヴァント地方で、起こりつつある地殻変動の背後にあるのと全く同じ力が、今、アメリカで内乱を醸成しつつある。

食物連鎖のトップの、意思決定をする犯行者たちは、アメリカ共和国が存在している限り、彼らの New World Order アジェンダを、推進させることはできないと知っている。

NWO 陰謀団もまた、アメリカ人民は外国の敵によっては、征服できないことを知っている。（第二次大戦で、日本の提督が正確に感じたように、草の葉の一枚一枚に、ライフルが隠されている。）

したがって、グローバリストには、もし彼らが計画した One World Order に、公然とアメリカ合衆国を従わせたければ、残された方法は一つしかない――

内乱である！

銃の没収と市民戦争（内乱）

「**リベラルが理解していないこと: 銃の没収が真剣に行おうとすれば、内乱になる可能性が高い**」http://stateofthenation2012.com/?p=94839

市民戦争に先立って、権力エリートは、どんな形でも敵対行動が起こる前に、特に都市部では、右翼を効果的に武装解除しておこうとするだろう。

愛国運動が十分に無力化したときになって、初めて、グローバリスト・クーデタ計画者たちは、彼らの「紫革命家」たちに一気に電圧をかけ、全面的なボルシェビキ式の「紫革命」を遂行するだろう。http://stateofthenation2012.com/?p=56307

この時期に至るまで、この密かな計画の中心的戦略は、漸次的に銃規制へとたどり着く方法であった。しかしテンポは上がった。そして共和国に対する逆賊たちは、あなたの面前で、一斉に銃の押収体勢に入ろうとしている。

この街ごとの、州ごとの銃規制キャンペーンは、「**グラディオ作戦 C**」の例式に従って、行われている。

「**グラディオ作戦 C：政府スポンサーによる国内テロリズムが、アメリカの公立学校を狙う**」http://stateofthenation2012.com/?p=94576

グラディオ作戦 A&B が、ヨーロッパ諸国を、ヨーロッパ連合（EU）という名の、全体主義的超国家へと囲い込むことによって、従わせることに使われたように、それに似た計画が北米に対して用いられている。「**暴かれた EU：ヨーロッパを破壊するために計画された全体主義的超国家**」http://stateofthenation2012.com/?p=40678　銃所持の権利を認めない法を定めたヨーロッパの諸国は、必ず、この火砲規制の新法以前に、大量銃撃事件を経験している。

フロリダのニセ旗と心理作戦

富裕なエリートたちが、バレンタインデーに彼らがやった、パークランドやフロリダの見え見えのテロ事件のようなことを、やってのけようとするとき、彼らは、破れかぶれになっていることが、誰にでも見て取れる。

ニセ旗の学校襲撃（それがまた、完全な偽物であることもある）が、これほど明らかであれば、政府スポンサーによるテロ作戦は、全くそのパンチを失くする。そして、その通りのことが、しかも急速に起こってきた。

このマージョリー・ストーンマン・ダグラス高校での、ニセ旗テロ作戦から数分もしないうちに、インターネットは、もう一つの米情報機関による心理作戦の証拠で、たちまち燃え上がった。

実際、直ちに行われた隠ぺい工作の間にも、あまりにも多くの手掛かりがあったので、多くの調査担当者たちは全く信じられなくて、いまだに目をこすっている。

どうして連邦調査官たちが、これほど多くの穴と、説明不能のギャップのある、滑稽な“一匹ガンマン”の話に基づいた筋書きを、想像することができるだろうか？　彼らはアメリカの市民が、本当に、それほど愚かだと思っているのだろうか？　**もちろん思っているのだ！** ただ、このガンマンの話については、表面に見えるよりも遥かに多くのことが、起こっている。

注意そらし、転換、誤導

「FISA ゲイト」は、反乱に傾く民主党員たちにとって、あまりにも熱くなり過ぎた。多くの他の深層国家の反逆者たちも、グローバリストが、国家的話題を変えねばならない、しかも急速に変えねばならならないほどに、正体が見えてきた。次の暴露話には、もっと多くの、関連する詳細が出ている：「**バレンタインデー虐殺：フロリダの高校大量射撃はなぜニセ旗ブラック作戦か、その理由**」http://stateofthenation2012.com/?p=94416

真相を語るなら、上のリンクに挙げてある犯罪より、はるかに深刻な犯罪があり、それらは、無数のオバマ‐クリントン・スキャンダルとさえ、比較にならないほどの、強力な放射能をもっている。それよりもっと重要なことに、これら、これまで超極秘だった爆弾が、すべて

の代替メディアを通じて、爆発しようとしていることである。そこで、ショッキングなニセ旗攻撃が、支配者から命令されたのだった。

奥深い深層国家は、やがてやってくる、明らかな大逆計画の暴露が、EU をモデルにした北米連合（NAU）を作ろうという計画全体を、爆破することになることを、よく知っている。ついでながら、メキシコ国境がいまだに開いたままであるのは、まさにそのためである。

> **キーポイント**：アメリカとカナダ、またアメリカとメキシコ間の国境をなくする、唯一の方法は、アメリカ人民から武器を取り上げることである。北米連合の計画立案者たちは、アメリカの愛国者やナショナリスト、保守主義者やキリスト教徒、ティーパーティ党やリバタリアンらは、このような地域的超国家を、決して作らせないであろうことを知っている――それは、彼らが、明らかにニセモノの国連を軽蔑するのと、同じ理由によるものだ。

北米連合は、EU の他に、20 世紀のソビエト連邦をモデルにしている。あのボルシェビキ革命を指導した、同じ、犯罪的に異常なサイコパスたちの派閥（もちろん彼らの家系）が、1913 年に初めて基礎を固めた、何十年に及ぶアメリカの占領を、実行する任務を負わされてきた。彼らは自分たちの、大逆の **2017 年紫革命**を始めるのに、**1917 年ロシア革命**の 100 周年記念の年を、意識的に選んだ。革命（La Revolución）の始まりとなった、この特別免許の日の記念撮影を覚えておかれたい。「注：1913 年は、連邦準備銀行という彼らの私有する米中央銀行ができた年」

各人の服装に「紫」が使われている

結論

パワー・エリートたちは、自分たちの時代があと幾ばくもないことを知っている。インターネット上には、犯罪陰謀団全体を起訴し有罪とすべき、十分で、堅固な証拠がある。この厳しい現実のために、最も目立つ犯行者たちが、これほど絶望的だったことはない。

その結果として、アメリカ人民は、何ものかが本当に崩れ始めるまで、もっと多くの大量射撃や爆撃があるものと予想することができる。愛国者運動は、銃規制に限っては、一寸たりとも譲歩するつもりはない。リベラルたちは、それほどの自滅の道を下っていくことはないが、あるとしたら、それは、クーデタの先導者たちが、彼ら自身のペドゲイト犯罪の証拠によって、反逆を余儀なくされるときだろう。結局のところ、ピザゲイトが、2016 年大統領選挙の直前に大きく暴かれたのは、まさにこれが理由だった。「**ピザゲイト：なぜそれが 2016 年選挙の直前に暴露されたか？**」http://stateofthenation2012.com/?p=66357

NWO アジェンダの注意深く隠された計画立案者について言えば、彼らは、子孫代々の宿命によって、彼らの全く馬鹿げた、かつ運に見放された目標を達成するのに必要な、すべてを行うように運命付けられていた。したがって、完全に操作された内乱は、突発的には起こるかもしれない。しかし、リベラルたちが、自分たちは大砲の餌にすぎないことを、徐々に悟っていくにつれて、戦場を見捨てる可能性が大きい。結局のところ、彼らは心の中では、本物の臆病者である。だからこそ彼らは snowflakes（雪の片）と呼ばれる。彼らは挑戦や敵を前にして溶けてしまう。

この退化のシナリオから見るならば、「一世界政府」を、この地球文明に押し付けようとする、どんな試みも、みじめに失敗するであろう。銃の権利は再び――世界全体で――必要な人間の権利であり、合法的な市民権として見直されるであろう。

最後に、紫革命を狙う者たちは、人々の周囲から連れ去られ、GITMO（グアンタナモ米軍基地）に安全に収監されるであろう。その代表者としては、ジョージ・ソロス、バラク・オバマ、ジョージ・ブッシュ父子、ヒラリーとビル・クリントン、ジョー・バイデン、ロバート・ミュラー、ジェームズ・コーミー、ジョン・ポデスタ、ジョン・ブレナン、ジェームズ・クラッパー、マイケル・ヘイデン、アダム・シフ、チャック・シューマー、ナンシー・ペロシ、マクシン・ウォーターズ、マイケル・ブルームバーグ、など。

――以上